

にじいろ

津南小学校3学年だより

R7. 12. 19

No.33



ジオパークって何？

9月にはばたきの学習の中間のまとめをした時に、「ジオパークとは何か？ジオパークに行ってみたい。」という話が出ました。「なじょもんの先生に聞けば分かると思う。」と子どもたち。ジオパーク推進室の仲野先生と林先生をお招きして、お話をうかがいました。

すると、「ジオパークとは、山や川のしきみ、自然と生き物や人の生活とのかかわりについて学ぶ“大地の公園”である」と分かりました。そして、これまでに訪れた見玉不動尊や龍ヶ窪はジオサイトと呼ばれるジオパークの一部であることが分かりました。半数の子どもたちは、「ジオパークに行っていたなんてびっくり！」「自分はジオパークには行ったことがないと思っていた！」と話していました。



講師の先生方が用意してくださったクイズに答えながら、楽しく学習しました。そして、ジオパークも津南町の“おたから”だと感じました。

佐藤佐平治の生き方から学びました

社会科では町のうつりかわりについて学習しています。昔、津南町のために活躍した人、佐藤佐平治についての紙芝居を、いクロスつなんボランティアの丸山直子さんから読んでいただきました。

丸山さんが「これは、本当のお話です。」と語り始めると、子どもたちは真剣な表情で聞き入っていました。途中で難しい言葉が出てくるため、担任が説明しながら進めましたが、子どもたちはその内容をよく理解し、中にはうなずきながら聞く子どもたちの姿もありました。

江戸時代、大飢饉で滅びそうになった秋山郷。津南町の福原新左衛門からの要請を受け、小千谷市片貝の佐藤佐平治が立ち上りました。佐平治は自分の財産を投げ出し、秋山郷の人々を救ったというお話をでした。



子どもたちの感想

- 自分のお金を投げ出してまで人助けをして、やさしいしすごいなと思った。自分がそんなことに直面したらそんなことができるだろうか。とてもゆう氣がある行動だと思った。私も少しだけでも人助けをしたい。
- 自分よりも村の人をゆうせんして助けるなんて、すごいです。佐平治さんのおかげで、ぼくたちは今、生きているんだな。
- 佐平治がいたからこそ、つなんのれきしがつながっていったんだなと思いました。
- 佐とう佐平治がすごすぎて、こわいぐらいでした。

丸山さんからは、「3年生が一生懸命に聞いてくれてびっくりしました。ちょっと難しい内容でしたが、佐藤佐平治の“自分のことよりも人のことを大切にして行動する”という姿勢を感じ取ってくれて、とてもうれしかったです。」とお話をいただきました。

津南町にゆかりのある偉人の話を通して、さらに津南町への愛着や誇りをもった子どもたちでした。



お願いと連絡です。ご協力をお願いします。

本日、タブレットを持ち帰りました

- ・保護者の方からタブレットを見ていただくことが目的であるため、**子どもたちは使用しないことを約束してあります。**
- ・パスコードを自分で決めて使用していますが、うっかり忘れてしまったり、間違えて入力してしまったりして、一時的にロックがかかり、使用できなくなってしまう子どもたちがいました。再設定してもよいことになっていますが、**やっと覚えて慣れたパスコードなので、3年生はできるだけ変えないようにお願ひします。**
- ・充電器とタッチペンは学校で預かっています。
- ・**23日（火）までに「確認書」の提出をお願いします。（児童と保護者の方の署名を忘れずにお願いします。）**



来週、書き初めの練習をします

- ・1組：22日（月）1、2限 2組：23日（火）1、2限
- ・汚さないように練習しますが、汚れてもよい服装で登校するとよいかと思います。
- ・おうちにある書き初め用の筆、下敷きをまだ持ってきていない場合は、持ってきます。

体操着について

来週は体育の学習をしないため、**体操着は持ってきません。**